

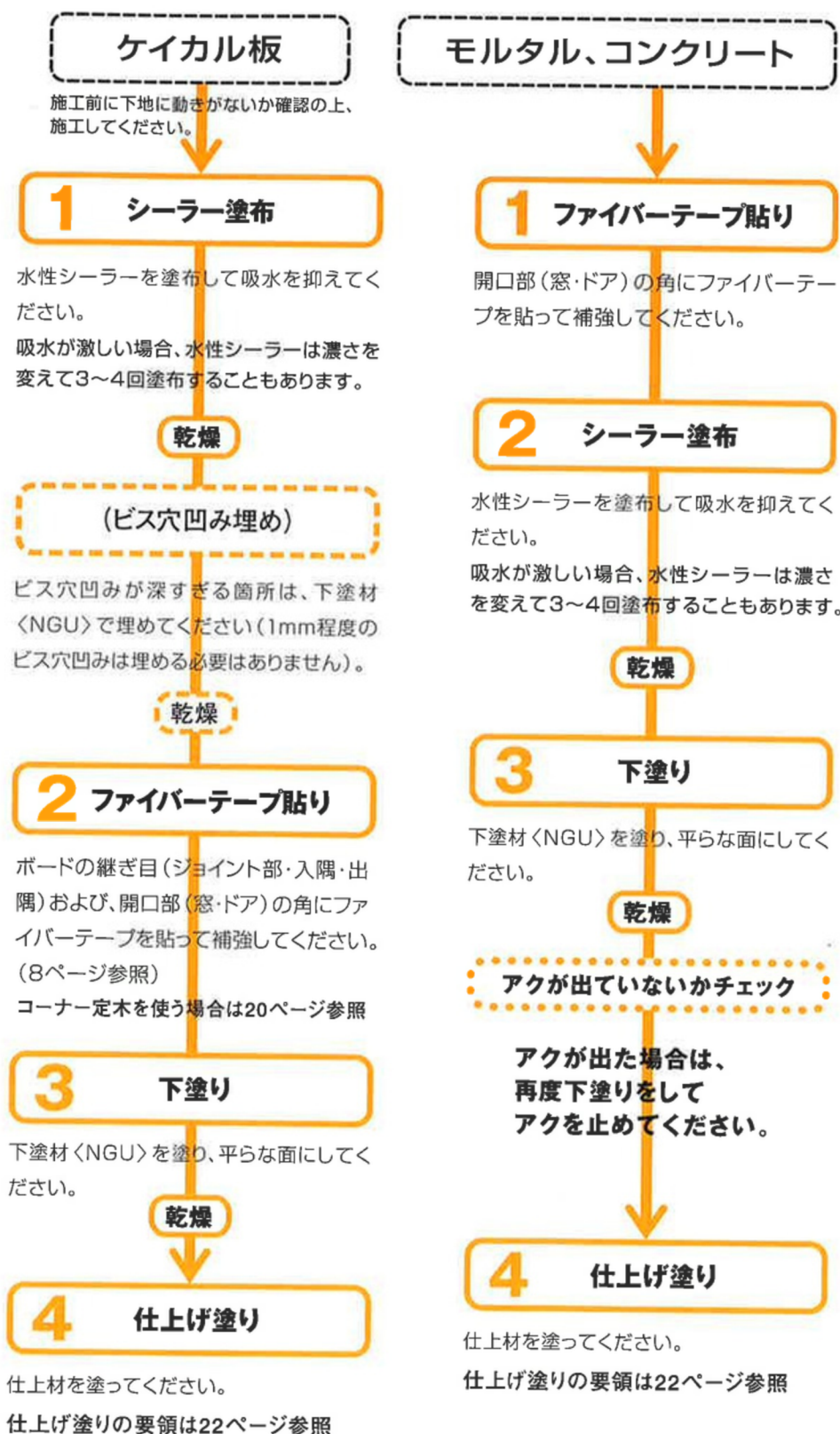
施工方法（粉末タイプ）

塗装壁 (ペンキなど)

施工前に下地に動きがないか確認の上、施工してください。



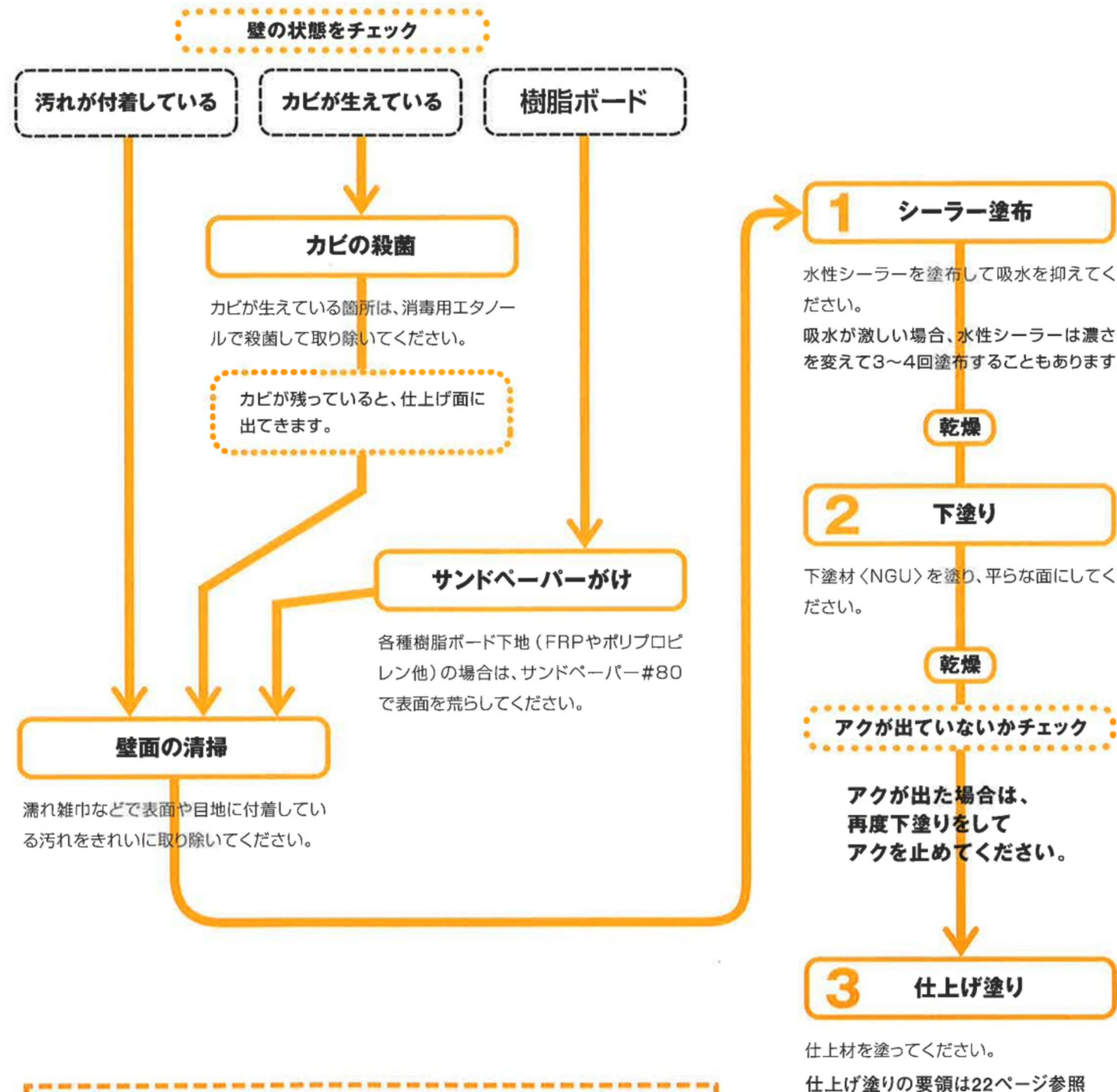
ケイカル板、 モルタル、コンクリートなど 水引きの激しい下地



〈ペーストタイプ〉で仕上げ塗りをする場合は、シーラー乾燥後、下塗りを省いて仕上げることができますが、コンクリートやモルタル下地からアクが出ることもありますので、あらかじめご了承ください。

タイル、各種樹脂ボード

※下地に動きがある軟弱な壁面の場合、クラックが入る恐れがあります。



浴室に施工する場合



〈エコ・クイーン〉は強アルカリ性でカビが生えにくい壁ですが、壁の湿潤状態が長期間つづいた場合、カビが生えることがあります。浴室に施工する場合は、石けんカスや皮脂が付着しやすい壁面下部への施工は避け、また、浴室使用後は換気を十分に行うなどの配慮が必要となります。なお、施工後、壁が完全に乾燥するまで浴室の使用を控えてください。